



平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月1日

上場会社名 ユニー株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 8270 URL <http://www.uny.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前村 哲路

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経理財務部長 (氏名) 越田 次郎

TEL 0587-24-8066

四半期報告書提出予定日 平成22年10月4日

配当支払開始予定日

平成22年11月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年2月21日～平成22年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	550,329	△3.5	16,484	76.2	15,373	85.3	3,209	—
22年2月期第2四半期	570,078	—	9,353	—	8,296	—	△2,637	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	16.24	—
22年2月期第2四半期	△13.35	—

(注)営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	961,815	338,939	24.7	1,200.83
22年2月期	943,380	336,404	25.0	1,194.21

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 237,228百万円 22年2月期 235,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	9.00	—	9.00	18.00
23年2月期	—	9.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年2月21日～平成23年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,100,000	△3.0	27,500	30.4	24,400	28.3	3,200	—	16.20

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期2Q 198,565,821株 22年2月期 198,565,821株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 1,012,527株 22年2月期 1,011,264株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期2Q 197,553,925株 22年2月期2Q 197,581,605株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 決算参考資料	11

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成22年10月4日（月）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(平成22年2月21日～平成22年8月20日)におけるわが国経済は、新興国の成長や政府による景気刺激策等により回復傾向がみられるものの、雇用情勢などは依然として厳しい状況が続き、力強さに欠ける展開となっています。

当社グループが属する小売業界は、政府による景気刺激策等を背景に個人消費に持ち直しの兆しが見えてきましたが、家計収入の伸び悩みによる低価格・節約志向、緩やかなデフレ状況の継続等により、引き続き厳しい状況が続きました。

このような経済状況のもとで、当社グループはグループ各社が連帯と協調を図りつつ、経営資源の効率的な活用と収益性の確保に努めました。また、新生活創造小売業を標榜し、グループシナジーの追及により商品の企画・提案力、販売戦略の強化と高効率化等を推進しました。

その結果、当第2四半期のグループ連結業績は、営業収益5,503億29百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益164億84百万円(前年同期比76.2%増)、経常利益153億73百万円(前年同期比85.3%増)、四半期純利益32億9百万円(前年同期は四半期純損失26億37百万円)となりました。

(セグメント別の業績の動向)

<総合小売業>

総合小売業は営業収益4,017億48百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益35億42百万円(前年同期は営業損失9億34百万円)となりました。

ユニー(株)においては、今期で誕生40周年(第40期)を迎え、「原点回帰」をテーマに①「マーチャライジング改革」、②「現場主義」、③「ローコスト経営」の3つを経営課題としています。①「マーチャライジング改革」では、高品質、低価格、かつ利益の出る商品販売を目指した価値ある商品開発や、生活解決・提案業としての新規需要創造などを目標としています。当第2四半期では、加齢臭を抑制する紳士・婦人用「DEO ON(デオオン)枕カバー付パジャマ」やスタイルアップ婦人用インナー「美スタイルアップインナー」などを販売開始しました。②「現場主義」では、店舗へ権限と責任をさらに委譲することにより、店舗で自主的な品揃えや売り方などを創意工夫する風土作りを目標としています。③「ローコスト経営」では、業務の集中による店舗省力化と本部作業改善による本部省力化を目標とし、精肉の集中加工センターや店舗の後方業務を集中処理する事務センターを進めています。

商品企画面では、ユニー(株)誕生40周年企画として、40周年記念商品や売場作り、記念セール、キャンペーンなどを実施し、企業の更なる成長に向けて、独自性を主張し存在価値を高めています。当第2四半期では、40周年の感謝をこめて、価格もボリュームも一段と中身を充実させた夏ギフト「お買得品40選」の販売などを実施しました。

その結果、生活者の節約志向、生活防衛意識の高まりが続く中、既設店売上高は計画を1.2%上回り、前年同期比2.8%減まで回復しました。商品部門別の前年同期比は衣料5.0%減、住居関連3.0%減、食品2.3%減となりました。

当セグメントの営業費用は、ローコスト経営に取り組んだ結果、人件費や水道光熱費などが減少し、3,982億5百万円(前年同期比3.9%減)となり、営業利益は前年同期に比べて大幅に改善しました。

ユニー(株)の当四半期末店舗数は出店2店舗、閉店5店舗(うち、1店舗は建替のための閉店)により231店舗となりました。また、香港の子会社であるUNY(HK)CO.,LTD.が2号店となる「UNY生活創庫LOKFU(楽富)店」(香港)を2010年6月にオープンしました。

<コンビニエンスストア>

コンビニエンスストアは営業収益954億91百万円(前年同期比3.9%減)、営業利益94億55百万円(前年同期比10.5%増)となりました。

(株)サークルKサンクスにおいては、店舗運営面では「お客様満足度の向上」と「加盟店利益の向上」を最優先課題として取り組みを強化し、商品面では看板ブランド「Cherie Dolce」の更なる強化やカウンターフーズの強化、お客様の多様化する生活シーンに対応した商品、売場の実現に取り組みました。また、7～8月の猛暑効果により夏物商品が大幅に伸長したことに加え、主力のファーストフードも回復傾向を示し、既設店売上高(単体)は前年同期比4.3%減と期初の計画を上回りました。

当セグメントの営業費用は経費削減による販売費及び一般管理費の減少により、860億36百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

当四半期末店舗数は出店162店舗、閉店129店舗により5,435店舗となりました。なお、非連結のエリアフランチャイザーを含む合計店舗数は6,322店舗となりました。

<専門店>

専門店の営業収益は424億68百万円(前年同期比8.3%減)、営業利益11億16百万円(前年同期は営業利益41百万円)となりました。

(株)さが美においては、再建計画最終年度にあたる本年度を「成長へ向けた基盤づくりの年」と位置づけ、店頭力の強化、ローコスト経営などに取り組みました。きもの事業において客数が前年を上回るなど

一部で売上高の低下に歯止めが掛かってきましたが、再建計画に沿った店舗閉鎖、客単価の減少などにより、営業収益151億7百万円（前年同期比16.1%減）、営業利益23百万円（前年同期比67.7%減）となりました。当四半期末店舗数は出店1店舗、閉店17店舗により344店舗となりました。

（株）パレモにおいては、外資系専門店等のファストファッションの台頭による更なる競合激化や消費者の価格訴求への傾向が強まるなどの厳しい経営環境が続きましたが、主力事業の収益力強化に向け、営業力、商品力の強化やスクラップ&ビルドによる店舗基盤の強化、ローコスト経営の徹底に取り組みました。その結果、既設店売上高が前年同期比0.6%増と計画を7.6%上回り、営業収益は157億43百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は9億29百万円（前年同期比196.8%増）と大幅に改善しました。当四半期末店舗数は出店22店舗、閉店18店舗により577店舗となりました。

（株）鈴丹においては、平成22年2月策定の「構造改革計画」に基づく事業再構築や営業基盤強化等に取り組みました。また、客数増加対策として、価格戦略商品や付加価値のある商品を安定的に供給した結果、既設店客数が前年同期並みまで回復し、既設店売上高は計画を4.1%上回る前年同期比5.9%減まで回復し、営業収益は81億58百万円（前年同期比4.3%減）となりました。また、不採算店の閉鎖や削減効果による家賃、販促費及び人件費等の経費削減により、営業利益は2億66百万円（前年同期は営業損失37百万円）と前年同期に比べて改善しました。当四半期末店舗数は出店4店舗、閉店34店舗により254店舗となりました。

<金融>

金融の営業収益は117億95百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益20億64百万円（前年同期比47.9%増）となりました。

（株）UCSにおいては、包括信用購入あっせん分野は政策効果に加え、ユニー(株)の誕生40周年記念とのタイアップ企画等により取扱高が好調に推移しましたが、融資分野は平成22年6月18日に改正貸金業法が完全施行されたことにより取扱高が大幅に減少しました。その結果、営業収益88億39百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

（株）ゼロネットワークスにおいては、ATM運用業務の受託事業が順調に推移し、営業収益29億58百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

当セグメントの営業費用は、貸倒関連費用の減少や会員募集コストの削減などにより97億31百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第2四半期末における総資産は9,618億15百万円となり、前連結会計年度末に比べて184億34百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金、有価証券の増加によるものです。

また有利子負債は、前連結会計年度末に比べて132億34百万円増加し、3,396億18百万円となりました。

純資産の当第2四半期末残高は3,389億39百万円となり、この結果、自己資本比率は24.7%、1株当たり純資産は1,200円83銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月8日公表の平成23年2月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成22年9月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の国内連結子会社において、当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

一部の国内連結子会社を除き、定率法を採用している資産について、当連結会計年度に係る減価償却額を期間按分して算定しております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法で算定しております。繰延税金資産の回収可能性判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法で算定しており、前連結会計年度末以降に経営環境等、または一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法で算定しております。

・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	93,503	91,089
受取手形及び売掛金	60,383	48,210
有価証券	17,026	5,074
商品	46,414	48,217
短期貸付金	33,842	40,107
繰延税金資産	6,742	6,619
その他	53,388	51,715
貸倒引当金	△5,623	△5,728
流動資産合計	305,678	285,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	213,853	210,300
工具、器具及び備品(純額)	8,945	9,646
土地	188,990	189,089
リース資産(純額)	15,551	11,573
建設仮勘定	5,876	8,000
その他(純額)	3,684	3,818
有形固定資産合計	436,900	432,428
無形固定資産		
のれん	13,727	13,728
その他	23,742	24,191
無形固定資産合計	37,469	37,920
投資その他の資産		
投資有価証券	16,540	18,135
長期貸付金	1,455	1,426
繰延税金資産	19,343	19,483
差入保証金	127,555	131,452
その他	19,606	20,105
貸倒引当金	△2,735	△2,879
投資その他の資産合計	181,766	187,724
固定資産合計	656,137	658,073
資産合計	961,815	943,380

ユニー(株)(8270) 平成23年2月期 第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	100,226	110,586
短期借入金	10,686	13,085
1年内償還予定の社債	5,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	42,738	20,947
コマーシャル・ペーパー	46,000	20,500
未払金	35,318	29,942
未払法人税等	5,572	1,928
繰延税金負債	—	0
役員賞与引当金	50	77
賞与引当金	3,437	3,786
ポイント引当金	1,516	906
事業構造改善引当金	550	798
その他	68,455	62,094
流動負債合計	319,553	279,653
固定負債		
長期借入金	225,324	249,395
リース債務	8,002	6,055
繰延税金負債	533	499
再評価に係る繰延税金負債	85	85
退職給付引当金	1,889	2,551
利息返還損失引当金	2,720	2,923
負ののれん	2,412	2,805
長期預り保証金	56,981	57,316
その他	5,373	5,692
固定負債合計	303,322	327,323
負債合計	622,875	606,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,129	10,129
資本剰余金	58,824	58,824
利益剰余金	169,597	168,168
自己株式	△1,202	△1,201
株主資本合計	237,349	235,920
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,491	1,643
繰延ヘッジ損益	△80	33
土地再評価差額金	△425	△425
為替換算調整勘定	△1,106	△1,250
評価・換算差額等合計	△120	1
少数株主持分	101,711	100,481
純資産合計	338,939	336,404
負債純資産合計	961,815	943,380

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)
売上高	485,621	466,517
売上原価	359,453	344,398
売上総利益	126,168	122,119
営業収入		
不動産収入	20,022	19,956
手数料収入	64,434	63,855
営業収入合計	84,456	83,811
営業総利益	210,624	205,930
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1,634	1,245
給料及び手当	55,028	53,186
賞与引当金繰入額	3,699	3,437
退職給付引当金繰入額	2,924	2,554
利息返還損失引当金繰入額	1,018	732
賃借料	45,170	44,231
減価償却費	15,354	15,401
その他	76,441	68,657
販売費及び一般管理費合計	201,271	189,446
営業利益	9,353	16,484
営業外収益		
受取利息	548	461
受取配当金	360	259
負ののれん償却額	395	393
持分法による投資利益	57	53
受取補償金	296	197
テナント内装工事負担金	244	82
その他	537	488
営業外収益合計	2,440	1,935
営業外費用		
支払利息	2,161	2,218
支払補償費	763	540
その他	572	288
営業外費用合計	3,497	3,046
経常利益	8,296	15,373

ユニ一(株)(8270) 平成23年2月期 第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)
特別利益		
固定資産売却益	178	41
貸倒引当金戻入額	110	52
事業譲渡益	261	—
受取補償金	—	12
その他	—	0
特別利益合計	550	108
特別損失		
固定資産処分損	706	679
減損損失	4,474	3,422
投資有価証券評価損	—	248
たな卸資産評価損	4,072	—
その他	147	188
特別損失合計	9,399	4,540
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△552	10,940
法人税、住民税及び事業税	4,130	5,317
法人税等調整額	△3,380	237
法人税等合計	750	5,554
少数株主利益	1,335	2,177
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,637	3,209

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)

	総合 小売業 (百万円)	コンビニ エンス ストア (百万円)	専門店 (百万円)	金融 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益及び営業損益								
(1) 外部顧客に 対する営業収益	412,149	99,329	46,299	10,445	1,853	570,078	—	570,078
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	1,336	6	—	1,669	8,027	11,039	△ 11,039	—
計	413,486	99,336	46,299	12,115	9,880	581,117	△ 11,039	570,078
営業費用	414,420	90,780	46,258	10,719	9,575	571,753	△ 11,028	560,725
営業利益又は 営業損失(△)	△ 934	8,555	41	1,396	304	9,364	△ 10	9,353

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分の方法は、グループ内の事業展開を基準として区分しております。

2. 各事業区分の主要な内容

- ・総合小売業……………衣料品、住居関連品、食料品等の小売業
- ・コンビニエンスストア……………フランチャイズシステムを主とするコンビニエンスストア事業
- ・専門店……………呉服、婦人服等の専門小売業
- ・金融……………クレジットの取扱業務・保険代理業・リース取引、ATM運用業務の受託
- ・その他……………警備・清掃・保守業務、リフォーム・リペア事業、不動産事業等

3. 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

4. 会計処理の方法の変更

(たな卸資産の評価基準及び評価方法)

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、一部の商品を除き売価還元法による原価法、呉服等については個別法による低価法及び主な生鮮食料品については最終仕入原価法による原価法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)が適用されたことに伴い、一部の商品を除き売価還元法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)、呉服等については個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)及び主な生鮮食料品については最終仕入原価法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、この変更に伴い、従来と同一の会計処理によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間における営業損益が総合小売業で266百万円、コンビニエンスストアで80百万円、専門店で26百万円増加しております。

(物流費に係る受託収入)

従来、取引先から收受する物流費のうち自社物流拠点を利用するものについては、営業収入の「手数料収入」としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、物流体制の見直しによる物流拠点の集約化を契機として、より明瞭な表示に資するため、取引先から收受する物流費のすべてについて、物流に係る費用(販売費及び一般管理費)から相殺することに変更しております。

なお、この変更に伴い、従来と同一の会計処理によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間における営業収益及び営業費用が総合小売業で762百万円減少しておりますが、営業損益に与える影響はありません。

ユニー(株)(8270) 平成23年2月期 第2四半期決算短信

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)

	総合 小売業 (百万円)	コンビニ エンスス トア (百万円)	専門店 (百万円)	金融 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益及び営業損益								
(1) 外部顧客に 対する営業収益	400,501	95,486	42,468	10,123	1,750	550,329	—	550,329
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	1,247	5	—	1,672	7,756	10,681	△ 10,681	—
計	401,748	95,491	42,468	11,795	9,506	561,011	△ 10,681	550,329
営業費用	398,205	86,036	41,352	9,731	9,191	544,517	△ 10,672	533,844
営業利益	3,542	9,455	1,116	2,064	315	16,493	△ 9	16,484

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分の方法は、グループ内の事業展開を基準として区分しております。

2. 各事業区分の主要な内容

- ・総合小売業……………衣料品、住居関連品、食料品等の小売業
- ・コンビニエンスストア……フランチャイズシステムを主とするコンビニエンスストア事業
- ・専門店……………呉服、婦人服等の専門小売業
- ・金融……………クレジットの取扱業務・保険代理業・リース取引、ATM運用業務の受託
- ・その他……………警備・清掃・保守業務、リフォーム・リペア事業、不動産事業等

3. 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメントの情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメントの情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 決算参考資料

(1) 連結決算

①連結決算 第2四半期の業績

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	前 期 比	前 年 比
営業収益	550,329	570,078	▲19,749	96.5%
営業総利益	205,930	210,624	▲4,694	97.8%
営業利益	16,484	9,353	7,131	176.2%
経常利益	15,373	8,296	7,076	185.3%
四半期純利益	3,209	▲2,637	5,846	—

※ 少数株主利益 2,177百万円(前期比 842百万円増、前年比 163.1%)

※ 連結決算の営業収益は、平成20年2月期中間より4期連続の減収です。

※ 連結決算の営業利益は、平成21年2月期中間以来の2期ぶりの増益です。

※ 連結決算の経常利益は、平成21年2月期中間以来の2期ぶりの増益です。

※ 連結決算の四半期純利益は、平成21年2月期中間以来の2期ぶりの増益です。

※ 連結決算における営業収益の過去最高は、610,601百万円(平成19年2月期中間)

※ 連結決算における過去最高利益は、営業利益 26,120百万円(平成15年2月期中間)。

経常利益 24,745百万円(平成15年2月期中間)。

四半期純利益 6,387百万円(平成11年2月期中間)。

②連結子会社の主な増減

・なし

③セグメント別の業績

百万円

	営業収益				営業利益			
	当期2Q	前期2Q	前期比	前年比	当期2Q	前期2Q	前期比	前年比
総合小売業	401,748	413,486	▲11,737	97.2%	3,542	▲934	4,477	—
コンビニエンスストア	95,491	99,336	▲3,844	96.1%	9,455	8,555	899	110.5%
専門 店	42,468	46,299	▲3,831	91.7%	1,116	41	1,074	—
金 融	11,795	12,115	▲319	97.4%	2,064	1,396	668	147.9%
そ の 他	9,506	9,880	▲373	96.2%	315	304	11	103.7%
計	561,011	581,117	▲20,106	96.5%	16,493	9,364	7,129	176.1%
消去または全社	▲10,681	▲11,039	357	—	▲9	▲10	1	—
連 結 計	550,329	570,078	▲19,749	96.5%	16,484	9,353	7,131	176.2%

④セグメント別の主な個別会社の情報

※ 設備投資は、工事ベース・経費除く。 特勤者 = 嘱託社員 + パートタイマー(換算) + アルバイト(換算)

○総合小売業

百万円

	ユニー				ユニー香港			
	当期2Q	前期2Q	前期比	前年比	当期2Q	前期2Q	前期比	前年比
営業収益	396,541	407,579	▲11,037	97.3%	5,430	6,084	▲654	89.2%
直営売上高	377,848	388,710	▲10,861	97.2%	5,412	6,060	▲648	89.3%
営業利益	3,424	▲1,135	4,559	—	96	231	▲135	41.6%
経常利益	4,107	▲412	4,519	—	131	270	▲139	48.4%
四半期純利益	2,140	1,667	473	128.4%	131	239	▲107	54.8%
既存店伸長率	97.2%	93.9%	3.3%		96.4%	99.6%	▲3.2%	
期末店舗数	231店	235店	▲4店	98.3%	1店	1店	—	100.0%
期中開店店舗数	2店	2店	—		—	—	—	
期中閉店店舗数	5店	—	5店		—	—	—	
設備投資額	8,905	20,893	▲11,988	42.6%	718	12	706	—
期中開店店舗の売場面積	10,943㎡	20,305㎡	▲9,362㎡	53.9%	—	—	—	—
期末売場面積	1,758,144㎡	1,645,829㎡	112,315㎡	106.8%	16,460㎡	16,460㎡	—	100.0%

ユニー(株)(8270) 平成23年2月期 第2四半期決算短信

期末社員数	6,015人	6,216人	▲201人	96.8%	484人	326人	158人	148.5%
期中平均特勤者数	23,053人	23,683人	▲630人	97.3%	122人	75人	47人	162.7%

※ ユニー香港 期中平均換算レート：当期2Q 1香港ドル＝ 11.46 円、前期2Q 1香港ドル＝ 12.38 円

※ ユニー香港の既存店伸長率は、現地通貨ベース

○コンビニエンスストア

百万円

	サークルKサンクス連結			
	当期2Q	前期2Q	前期比	前年比
営業収益	98,292	101,986	▲3,694	96.4%
直営売上高	40,282	44,353	▲4,070	90.8%
営業利益	10,528	9,590	938	109.8%
経常利益	10,366	9,282	1,084	111.7%
四半期純利益	3,975	3,297	678	120.6%
既存店伸長率	95.7%	96.7%	▲1.0%	
期末店舗数(①+②+③)	6,322店	6,263店	59店	100.9%
①本 体	4,990店	4,952店	38店	100.8%
②エリアFC	1,268店	1,244店	24店	101.9%
③99イチバ	64店	67店	▲3店	95.5%
設備投資額	11,887	16,776	▲4,889	70.9%
期末社員数	2,091人	1,988人	103人	105.2%
期中平均特勤者数	661人	674人	▲12人	98.1%

※サークルKサンクス連結には、金融が含まれています。

○専門店

百万円

	さが美連結				パレモ			
	当期2Q	前期2Q	前期比	前年比	当期2Q	前期2Q	前期比	前年比
営業収益	15,107	18,014	▲2,906	83.9%	15,743	15,565	177	101.1%
直営売上高	15,013	17,899	▲2,886	83.9%	15,598	15,412	185	101.2%
営業利益	23	74	▲50	32.3%	929	313	616	296.8%
経常利益	20	86	▲66	24.1%	959	325	633	294.7%
四半期純利益	▲89	▲57	▲31	—	356	▲370	727	—
既存店伸長率	90.9%	90.2%	0.7%		100.6%	88.4%	12.2%	
期末店舗数	344店	380店	▲36店	90.5%	577店	598店	▲21店	96.5%
期中開店店舗数	1店	6店	▲5店		22店	8店	14店	
期中閉店店舗数	17店	26店	▲9店		18店	27店	▲9店	
設備投資額	30	82	▲52	37.0%	355	125	230	284.0%
期中開店店舗の売場面積	86㎡	648㎡	▲562㎡	13.2%	2,869㎡	1,190㎡	1,679㎡	241.1%
期末売場面積	46,250㎡	51,472㎡	▲5,222㎡	89.9%	106,972㎡	110,091㎡	▲3,119㎡	97.2%
期末社員数	695人	765人	▲70人	90.8%	153人	173人	▲20人	88.4%
期中平均特勤者数	1,237人	1,334人	▲97人	92.7%	2,611人	2,275人	336人	114.8%

	鈴丹連結				モリエ			
	当期2Q	前期2Q	前期比	前年比	当期2Q	前期2Q	前期比	前年比
営業収益	8,158	8,525	▲366	95.7%	3,461	4,197	▲735	82.5%
直営売上高	8,158	8,525	▲366	95.7%	3,387	4,107	▲720	82.5%
営業利益	266	▲37	303	—	▲103	▲305	202	—
経常利益	270	▲55	325	—	▲104	▲311	207	—
四半期純利益	188	▲242	431	—	▲245	▲619	373	—
既存店伸長率	94.1%	85.4%	8.7%		89.2%	91.2%	▲2.0%	
期末店舗数	254店	295店	▲41店	86.1%	152店	191店	▲39店	79.6%
期中開店店舗数	4店	7店	▲3店		—	2店	▲2店	
期中閉店店舗数	34店	10店	24店		33店	9店	24店	
設備投資額	160	101	59	158.1%	21	42	▲21	51.0%

ユニ一(株)(8270) 平成23年2月期 第2四半期決算短信

期中開店店舗の売場面積	1,350 m ²	885 m ²	464 m ²	152.5%	—	292 m ²	▲292 m ²	—
期末売場面積	39,668 m ²	43,638 m ²	▲3,969 m ²	90.9%	19,833 m ²	24,806 m ²	▲4,973 m ²	79.9%
期末社員数	163人	217人	▲54人	75.1%	24人	23人	1人	104.3%
期中平均特勤者数	1,105人	1,082人	23人	102.1%	526人	723人	▲197人	72.6%

○金融

百万円

	U C S			
	当期2Q	前期2Q	前期比	前年比
営業収益	8,839	9,286	▲446	95.2%
営業利益	1,244	616	628	201.8%
経常利益	1,249	621	627	201.1%
四半期純利益	723	360	363	200.9%
カード会員数	315.4万人	305.3万人	10.1万人	103.3%

⑤連結決算 有利子負債の内訳

百万円

	平成23年2月期 第2四半期連結	平成22年2月期	平成22年2月期 第2四半期連結
コマーシャルペーパー	46,000	20,500	61,500
短期借入金	10,686	13,085	19,183
長期借入金	268,062	270,342	242,422
社債	5,000	15,000	15,000
小計	329,748	318,927	338,105
リース債務	9,869	7,456	5,985
合計	339,618	326,383	344,090

⑥連結決算 販管費の主な項目

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	前年比
人件費	72,944	77,399	94.2%
広告費	12,435	13,787	90.2%
賃借料	44,231	45,170	97.9%
減価償却費	15,401	15,354	100.3%
水道光熱費	7,726	8,699	88.8%
のれん償却	857	815	105.2%
その他	35,849	40,043	89.5%
販管費計	189,446	201,271	94.1%

⑦連結決算 営業外収益の主な項目

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増減
受取利息	461	548	▲86
受取配当金	259	360	▲101
負ののれん償却額	393	395	▲1
受取補償金	197	296	▲99
テナント内装工事負担金	82	244	▲162
持分法による投資利益	53	57	▲4
その他	488	537	▲49
営業外収益計	1,935	2,440	▲505

⑧連結決算 営業外費用の主な項目

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増 減
支 払 利 息	2,218	2,161	56
支 払 補 償 費	540	763	▲ 223
そ の 他	288	572	▲ 283
営業外費用計	3,046	3,497	▲ 451

⑨連結決算 特別利益の主な項目

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増 減
固定資産売却益	41	178	▲ 136
貸倒引当金戻入額	52	110	▲ 57
受取補償金	12	—	12
事業譲渡益	—	261	▲ 261
特別利益計	108	550	▲ 442

⑩連結決算 特別損失の主な項目

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増 減
減 損 損 失	3,422	4,474	▲ 1,051
固定資産処分損	679	706	▲ 26
投資有価証券評価損	248	—	248
たな卸資産評価損	—	4,072	▲ 4,072
そ の 他	188	147	41
特別損失計	4,540	9,399	▲ 4,859

⑪ユニー(株)及び主要子会社の総資産及び借入金

百万円

	総 資 産	有利子負債	純資産	ユニーから の借入金	有価証券 含み損益	ユニー(株) 持株比率
ユニー	587,405	263,301	180,216	—	2,366	—
ユニー香港	5,023	—	3,372	—	—	100.00%
サークルKサンクス(連結)	247,073	9,727	135,116	—	761	48.65%
さが美(連結)	16,969	2,015	9,279	1,000	8	55.30%
パレモ	12,913	1,600	6,112	—	—	63.40%
鈴丹(連結)	7,744	4,200	622	1,000	—	60.32%
モリエ	1,423	1,645	▲ 1,241	1,480	—	99.50%
UCS	111,653	59,398	16,371	—	2	80.91%

※ ユニー(株)持株比率は間接所有も含む

※ 子会社・関連会社への保証債務：(株)ユーライフ 2,942百万円

(2) 連結決算通期(平成23年2月期)の業績予想

①連結決算通期の業績予想

百万円

	平成23年2月期	平成22年2月期	前 期 比	前 年 比
営 業 収 益	1,100,000	1,134,427	▲ 34,427	97.0%
営 業 利 益	27,500	21,095	6,404	130.4%
経 常 利 益	24,400	19,019	5,380	128.3%
当 期 純 利 益	3,200	▲ 4,995	8,195	—

※ 少数株主利益 2,754百万円(前期比 855百万円増、前年比 145.1%)

②セグメント別の業績予想

百万円

	営業収益				営業利益			
	当期	前期	前期比	前年比	当期	前期	前期比	前年比
総合小売業	812,660	835,009	▲22,349	97.3%	9,620	4,675	4,944	205.8%
コンビニエンスストア	185,180	188,912	▲3,732	98.0%	13,720	13,212	507	103.8%
専門店	82,160	88,896	▲6,736	92.4%	1,840	▲261	2,101	—
金融	23,000	23,952	▲952	96.0%	1,750	2,904	▲1,154	60.2%
その他	18,860	19,598	▲738	96.2%	570	580	▲10	98.2%
計	1,121,860	1,156,368	▲34,508	97.0%	27,500	21,111	6,388	130.3%
消去または全社	▲21,860	▲21,941	81	—	—	▲16	16	—
連結計	1,100,000	1,134,427	▲34,427	97.0%	27,500	21,095	6,404	130.4%

③ユニー(株)及び主要連結子会社の業績予想

○総合小売業

百万円

	ユニー				ユニー香港			
	当期	前期	前期比	前年比	当期	前期	前期比	前年比
営業収益	800,500	824,602	▲24,102	97.1%	12,455	10,755	1,699	115.8%
営業利益	9,600	4,486	5,113	214.0%	▲19	253	▲272	—
経常利益	10,600	5,164	5,435	205.2%	25	321	▲295	7.9%
当期純利益	2,900	235	2,664	—	21	275	▲254	7.6%
既存店伸長率	97.4%	93.3%	4.1%		97.0%	94.3%	2.7%	
期末店舗数	227店	234店	▲7店	97.0%	2店	1店	1店	200.0%
期中開店店舗数	3店	3店	—		1店	—	1店	
期中閉店店舗数	10店	2店	8店		—	—	—	
設備投資額	18,847	30,657	▲11,810	61.5%	292	74	217	394.6%
期中開店店舗の売場面積	13,092 m ²	21,432 m ²	▲8,340 m ²	61.1%	13,450 m ²	—	13,450 m ²	—
期末売場面積	1,742,553 m ²	1,662,234 m ²	80,319 m ²	104.8%	29,910 m ²	16,460 m ²	13,450 m ²	181.7%
期末社員数	5,914人	6,089人	▲175人	97.1%	634人	323人	311人	196.3%
期中平均特勤者数	23,105人	23,869人	▲764人	96.8%	160人	76人	84人	210.5%

※ユニー香港 期中平均換算レート：当期1香港ドル＝11.46円、前期1香港ドル＝11.76円

○コンビニエンスストア

百万円

	サークルKサンクス連結			
	当期	前期	前期比	前年比
営業収益	190,680	194,142	▲3,462	98.2%
営業利益	15,850	15,199	650	104.3%
経常利益	14,650	14,607	42	100.3%
当期純利益	5,820	5,554	265	104.8%
既存店伸長率	96.8%	94.4%	2.4%	
期末店舗数(①+②+③)	6,352店	6,287店	65店	101.0%
①本 体	5,008店	4,958店	50店	101.0%
②エリアFC	1,282店	1,261店	21店	101.7%
③99イチバ	62店	68店	▲6店	91.2%
設備投資額	25,005	26,437	▲1,432	94.6%
期末社員数	2,073人	1,983人	90人	104.5%
期中平均特勤者数	619人	652人	▲33人	94.9%

※サークルKサンクス連結には、金融が含まれています。

○専門店

百万円

	さが美連結				パレモ			
	当期	前期	前期比	前年比	当期	前期	前期比	前年比
営業収益	30,600	34,532	▲3,932	88.6%	29,930	29,905	24	100.1%
営業利益	280	256	23	109.2%	1,160	472	687	245.7%
経常利益	270	252	17	107.0%	1,210	513	696	235.8%
当期純利益	90	▲108	198	—	270	▲543	813	—
既存店伸長率	92.2%	89.6%	2.6%		96.0%	88.8%	7.2%	
期末店舗数	321店	360店	▲39店	89.2%	578店	573店	5店	100.9%
期中開店店舗数	5店	12店	▲7店		40店	14店	26店	
期中閉店店舗数	44店	52店	▲8店		35店	58店	▲23店	
設備投資額	134	189	▲55	70.8%	680	286	394	237.8%
期中開店店舗の売場面積	559㎡	1,558㎡	▲999㎡	35.9%	6,337㎡	2,467㎡	3,870㎡	256.9%
期末売場面積	43,343㎡	48,580㎡	▲5,236㎡	89.2%	107,700㎡	106,115㎡	1,585㎡	101.5%
期末社員数	681人	735人	▲54人	92.7%	153人	165人	▲12人	92.7%
期中平均特勤者数	1,203人	1,311人	▲108人	91.8%	2,248人	2,304人	▲56人	97.6%

	鈴丹連結				モリエ			
	当期	前期	前期比	前年比	当期	前期	前期比	前年比
営業収益	14,860	16,047	▲1,187	92.6%	6,776	8,416	▲1,640	80.5%
営業利益	355	▲627	982	—	46	▲359	405	—
経常利益	355	▲688	1,043	—	42	▲364	406	—
当期純利益	15	▲1,366	1,381	—	▲178	▲874	696	—
既存店伸長率	94.0%	83.6%	10.4%		91.4%	89.9%	1.5%	
期末店舗数	242店	284店	▲42店	85.2%	144店	185店	▲41店	77.8%
期中開店店舗数	5店	21店	▲16店		—	2店	▲2店	
期中閉店店舗数	47店	35店	12店		41店	15店	26店	
設備投資額	234	483	▲249	48.4%	25	48	▲23	52.1%
期中開店店舗の売場面積	1,520㎡	3,331㎡	▲1,811㎡	45.6%	—	292㎡	▲292㎡	—
期末売場面積	37,926㎡	43,455㎡	▲5,528㎡	87.3%	19,035㎡	24,122㎡	▲5,087㎡	78.9%
期末社員数	153人	204人	▲51人	75.0%	22人	23人	▲1人	95.7%
期中平均特勤者数	1,075人	1,093人	▲18人	98.4%	480人	680人	▲200人	70.6%

○金融

百万円

	UCS			
	当期	前期	前期比	前年比
営業収益	17,150	18,368	▲1,218	93.4%
営業利益	200	1,432	▲1,232	14.0%
経常利益	200	1,440	▲1,240	13.9%
当期純利益	120	823	▲703	14.6%
カード会員数	318.0万人	310.7万人	7.3万人	102.3%

④連結ベースの設備投資及び減価償却

億円

	平成23年2月期 第2四半期連結累計	平成23年2月期予想
設備投資	230	473
減価償却	154	326

※ 設備投資は工事ベース・経費除く

(3) 個別決算

①第2四半期の業績

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	前 期 比	前 年 比
営業収益	396,541	407,579	▲ 11,037	97.3%
直営売上高	377,848	388,710	▲ 10,861	97.2%
営業総利益	107,124	109,371	▲ 2,246	97.9%
営業利益	3,424	▲ 1,135	4,559	—
経常利益	4,107	▲ 412	4,519	—
四半期純利益	2,140	1,667	473	128.4%

※ 営業収益は、平成21年2月期中間以来の2期ぶりの減収です。

※ 営業利益は、平成20年2月期中間より3期ぶりの増益です。

※ 経常利益は、平成21年2月期中間より2期ぶりの増益です。

※ 四半期純利益は、平成21年2月期中間以来の2期ぶりの増益です。

※ 個別決算における営業収益の過去最高は、407,579百万円（平成22年2月期第2四半期累計）です。

※ 個別決算における過去最高利益は、営業利益 8,207百万円（平成元年2月期中間）。

経常利益 8,476百万円（平成3年2月期中間）。

四半期純利益 4,623百万円（平成3年2月期中間）。

※ 前期第2四半期累計には、東名クラウン開発株式会社の合併に伴う抱合せ株式消滅差益 4,127百万円が含まれています。

②上半期の新店舗及び閉店店舗

	店 名	所 在 地	営業面積 (直営面積)	開閉店日	前期上半期
新 設 店 舗	ピオニウォーク東松山 (アピタ東松山店)	埼玉県東松山市	41,095 m ² (10,076 m ²)	H22. 3.19	リーフウォーク稲沢 (アピタ稲沢東店) ラザウォーク甲斐双葉 (アピタ双葉店)
	ピアゴ ラ フーズコア中田店	静岡市駿河区	893 m ² (867 m ²)	H22. 3.25	
閉 店 店 舗	アピタ武生店	福井県越前市	8,752 m ² (8,737 m ²)	H22. 3.20	/
	ピアゴ可児店	岐阜県可児市	10,896 m ² (7,940 m ²)	H22. 5. 9	
	ピアゴ前後駅前店	愛知県豊明市	2,286 m ² (2,045 m ²)	H22. 7.19	
	アピタ豊川店	愛知県豊川市	9,263 m ² (9,044 m ²)	H22. 8.15	
	ユニー吉原店	静岡県富士市	10,857 m ² (7,704 m ²)	H22. 8.17	

※ 第2四半期期末店舗数は、前期同期末に比べ4店舗減の231店舗です。

※ ユニー吉原店は、建替のための閉店です。

③設備投資額（工事ベース）

億円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増 減
先行投資	—	88	▲ 88
新 増 設 店	65	94	▲ 29
既存店活性化投資等	24	27	▲ 3
合 計	89	209	▲ 120

※ 支払ベースでは96億円（前期は220億円）。

④有利子負債の内訳

百万円

	平成23年2月期 第2四半期	平成22年2月期	平成22年2月期 第2四半期
コマーシャルペーパー	46,000	20,500	61,500
短期借入金	2,196	2,305	2,453
長期借入金	210,105	212,064	187,677
社債	5,000	15,000	15,000
合計	263,301	249,869	266,630

※ 償還期限別社債残高 ・平成22年9月30日 5,000百万円 (利率1.26%)

⑤財政状況

百万円

	平成23年2月期 第2四半期	平成22年2月期 第2四半期	増減
総資産	587,405	607,536	▲20,130
純資産	180,216	184,077	▲3,861
自己資本比率	30.7%	30.3%	0.4%

⑥配当金

- ・ 中間配当金は、普通配当9円とさせていただきます。

⑦売上伸長率

%

		平成23年2月期 第2四半期累計									前年 上期計
		3月	4月	5月	第1Q	6月	7月	8月	第2Q	上期計	
衣料品	既設店	94.1	88.0	94.5	92.0	94.7	103.6	96.3	98.0	95.0	86.5
	全店	93.7	88.9	94.2	92.2	98.4	98.3	98.2	98.3	95.2	88.0
住関連品	既設店	94.8	95.2	98.7	96.3	94.9	102.0	95.8	97.6	97.0	93.1
	全店	93.5	97.2	98.6	96.5	99.0	97.9	97.1	98.0	97.3	94.4
食品	既設店	96.2	97.1	96.6	96.6	98.0	98.5	99.6	98.7	97.7	96.0
	全店	95.3	99.1	95.0	96.5	99.9	96.8	98.7	98.5	97.5	98.4
直営	既設店	95.7	95.4	96.6	95.9	97.0	100.1	98.6	98.5	97.2	93.9
	全店	94.9	97.2	95.5	95.9	99.5	97.4	98.5	98.5	97.2	95.9

※ 既設店の売上伸長率は、曜日調整をしております。全店の売上伸長率は、曜日調整をしておりません。

※ 前年割れ店舗(既設店ベース) 184店/224店

<タイプ別既設店伸長率>

- ・ アピタタイプ 97.3% (前期上期計 95.0%)
- ・ ピアゴタイプ 97.2% (前期上期計 92.1%)
- ・ ユーホームタイプ 94.1% (前期上期計 92.7%)

⑧客数・客単価の状況(既設店)

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増減
買い上げ客数	98.7%	99.4%	▲0.7%
客単価	98.4%	94.0%	4.4%

⑨荒利率

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増減
衣料品	36.6%	35.9%	0.7%
住関連品	27.0%	27.0%	—
食品	19.5%	19.4%	0.1%
直営	23.4%	23.3%	0.1%

⑩商品回転日数 (期中平均在庫売価)

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増 減
衣 料 品	73.2日	74.3日	▲ 1.1日
住 関 品	80.3日	79.2日	1.1日
食 品	5.5日	5.4日	0.1日
直 営	28.5日	28.6日	▲ 0.1日

※ 商品回転日数は、各月平均在庫売価で算出。

⑪ロス率

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増 減
衣 料 品	18.5%	19.3%	▲ 0.8%
住 関 品	6.2%	6.4%	▲ 0.2%
食 品	1.2%	1.5%	▲ 0.3%
直 営	4.8%	5.2%	▲ 0.4%

⑫販管費の主な項目

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	前 期 比	前 年 比
人 件 費	49,056	52,126	▲ 3,070	94.1%
広 告 費	6,725	7,310	▲ 584	92.0%
内 装 費	365	598	▲ 232	61.1%
賃 借 料	13,155	13,656	▲ 501	96.3%
減 価 償 却 費	8,699	9,287	▲ 587	93.7%
水 道 光 熱 費	6,185	6,910	▲ 725	89.5%
そ の 他	19,512	20,616	▲ 1,104	94.6%
販 管 費 計	103,700	110,507	▲ 6,806	93.8%

⑬営業外損益の主な項目

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増 減
受 取 利 息	225	266	▲ 41
受 取 配 当 金	1,452	1,526	▲ 74
支 払 利 息	▲ 1,505	▲ 1,496	▲ 8
金 融 収 支	171	295	▲ 123
貸倒引当金繰入額	▲ 159	▲ 270	111
負ののれん償却額	391	391	—
そ の 他	278	305	▲ 27
営業外損益計	682	723	▲ 40

⑭特別利益の主な項目

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増 減
固 定 資 産 売 却 益	9	121	▲ 111
抱合せ株式消滅差益	—	4,127	▲ 4,127
特 別 利 益 計	9	4,248	▲ 4,238

⑮特別損失の主な項目

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増 減
固定資産処分損	458	405	52
減損損失	386	1,007	▲621
投資有価証券評価損	244	—	244
たな卸資産評価損	—	3,192	▲3,192
その他	1	52	▲51
特別損失計	1,090	4,658	▲3,568

(4) 個別決算通期 (平成23年2月期) の業績予想

①個別決算通期の業績予想

百万円

	平成23年2月期	平成22年2月期	前期比	前年比
営業収益	800,500	824,602	▲24,102	97.1%
営業総利益	217,960	221,871	▲3,911	98.2%
営業利益	9,600	4,486	5,113	214.0%
経常利益	10,600	5,164	5,435	205.2%
当期純利益	2,900	235	2,664	—

※ 下半期の既設店伸長率は97.5% (前期下半期は92.6%) を見込んでいます。

※ 通期の既設店伸長率は、97.4% (前期は93.3%) を見込んでいます。

※ 下半期の荒利率は23.8% (前期下半期は23.5%) を見込んでいます。

※ 通期の荒利率は23.6% (前期は23.4%) を見込んでいます。

※ 期末の従業員数予想 33,600人

②平成23年2月期 (40期) 業績予想の主な項目

百万円

	平成23年2月期予想	平成22年2月期実績	前年比
既設店伸長率	97.4%	93.3%	4.1%
営業収益	800,500	824,602	97.1%
直営売上高	762,330	786,996	96.9%
荒利率 (%)	23.6%	23.4%	0.2%
営業総利益	217,960	221,871	98.2%
人件費	98,890	102,775	96.2%
広告費	13,670	14,901	91.7%
内装費	720	764	94.1%
賃借料	26,220	27,411	95.7%
減価償却費	18,110	19,014	95.2%
その他	50,750	52,516	96.6%
営業費計	208,360	217,384	95.8%
営業利益	9,600	4,486	214.0%
金融収支	▲30	94	—
その他	1,030	584	176.3%
経常利益	10,600	5,164	205.2%
特別利益	10	5,891	0.2%
特別損失	6,510	13,093	49.7%
税前利益	4,100	▲2,037	—
当期純利益	2,900	235	—

③下半期 開閉店予定店舗

	店 名	所 在 地	営業面積 (直営面積)	開閉店日	前期下半期
新 設 店 舗	ヒルズウォーク徳重 (ピアゴ ラ フーズコア徳重店)	名古屋市緑区	25,554 m ² (2,149 m ²)	H22. 11月	ピアゴ ラ フーズコア 黒川店
閉 店 店 舗	ピアゴ植田店	名古屋市天白区	5,687 m ² (4,676 m ²)	H23. 1月	ピアゴ長後店 ピアゴ大曾根店
	ピアゴ桶狭間店	名古屋市緑区	2,085 m ² (1,733 m ²)	H23. 2月	
	ピアゴ蟹江店	愛知県海部郡	1,737 m ² (1,655 m ²)	H23. 2月	
	ピアゴ騎西店	埼玉県加須市	2,348 m ² (2,277 m ²)	H23. 2月	

※ 平成23年2月期期末店舗数は、前期末に比べ6店舗減の228店舗の予定です。

※ ピアゴ植田店は、テナント増床のための閉店です。

※ ピアゴ桶狭間店は、ユーホームへの業態変更のための閉店です。

※ ピアゴ蟹江店は、建替のための閉店です。

④設備投資計画 (工事ベース)

億円

	平成23年2月期予想	平成22年2月期実績	増 減
先 行 投 資	17	144	▲ 127
新 増 設 店	92	99	▲ 7
既存店活性化投資等	79	64	15
計	188	307	▲ 119

※ 支払ベースでは 188億円 (前期は 376億円)。

⑤資金計画の概要

億円

			平成23年 2月期予想	平成22年 2月期実績
	支払ベース設備投資	1	188	376
	その他投融资	2	20	—
	合 計	3	208	376
	当 期 純 利 益	4	29	2
	配 当 金	5	▲ 36	▲ 36
	減 価 償 却	6	181	190
	退職給付引当金等	7	▲ 8	▲ 1
	除却・売却・減損 (簿価分)	8	62	133
	税 金 調 整	9	7	▲ 22
	そ の 他	10	▲ 8	▲ 49
	計	11	227	217
	預り保証金	12	1	▲ 14
	長期借入金	13	34	331
	社 債	14	▲ 150	—
差入保証金戻り等	15	47	54	
合 計	16	159	588	
過 不 足	17	▲ 49	212	

(5) 平成24年2月期について

①開閉店予定店舗 (平成22年10月現在)

	店名	所在地	営業面積 (直営面積)	開閉店日
新設店舗	ユーホーム桶狭間店 (業態変更)	名古屋市緑区	2,066 m ² (2,000 m ²)	H23. 上期
	ピアゴ蟹江店 (建替)	愛知県海部郡	3,412 m ² (1,941 m ²)	H23. 下期
	アピタ吉原店 (建替)	静岡県富士市	12,185 m ² (7,263 m ²)	H23. 下期
テナント増床店舗	ピアゴ植田店	名古屋市天白区	7,818 m ² (4,499 m ²)	H23. 上期
閉鎖店舗	ピアゴ今池店	名古屋市千種区	10,290 m ² (7,719 m ²)	H23. 上期

②資金計画の概要

億円

			平成24年2月期計画
支払ベース設備投資	1		118
内部留保	2		228
預り保証金	3		▲18
長期借入金	4		▲136
社債	5		—
差入保証金戻り等	6		47
合計	7	1+2+3+4+5+6	121
過不足	8	7-1	3

(6) その他参考資料

①期末店舗数及び売場面積

	平成23年2月期 第2四半期	平成22年2月期 第2四半期	増減	前年比
店舗数	231店	235店	▲4店	—
店舗面積	1,758,144 m ²	1,645,829 m ²	112,315 m ²	106.8%

②期末従業員数

	人数		構成比		平均年齢		平均勤続年数		
	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	
社員	男子	4,823	5,004	14.2%	14.4%	42.1	41.7	19.3	18.9
	女子	1,192	1,212	3.5%	3.5%	38.7	37.9	17.5	16.8
	計	6,015	6,216	17.8%	17.9%	41.4	41.0	18.9	18.5
特勤者	27,852	28,428	82.2%	82.1%					
合計	33,867	34,644	100.0%	100.0%					

※ 特勤者は、嘱託社員+パートナー社員+パートタイマー+キャリア社員の実人員。(アルバイトは除く)

③売場面積当たり売上高・一人当たり売上高の状況 (期末売場面積・期末従業員数基準) 千円

	平成23年2月期 第2四半期累計	平成22年2月期 第2四半期累計	増減	
売場面積1 m ² 当たり売上高	214	235	▲21	
一人当たり売上高	社員	62,593	62,314	279
	特勤者含む	11,116	11,181	▲65

④タイプ別店舗数及び売上高

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計			平成22年2月期 第2四半期累計			前年比	既設 前年比
	店舗数	売上高	構成比	店舗数	売上高	構成比		
アピタ	96	242,971	64.5%	98	247,982	64.0%	98.0%	97.3%
ピアゴ	126	127,562	33.9%	128	133,016	34.3%	95.9%	97.2%
ユーホーム	9	5,965	1.6%	9	6,342	1.7%	94.1%	94.1%
合計	231	376,499	100.0%	235	387,341	100.0%	97.2%	97.2%

⑤地域別店舗数及び売上高

百万円

	平成23年2月期 第2四半期累計			平成22年2月期 第2四半期累計			前年比	既設 前年比
	店舗数	売上高	構成比	店舗数	売上高	構成比		
関東エリア	35	64,418	17.1%	35	64,759	16.7%	99.5%	96.9%
山静エリア	26	38,890	10.3%	26	39,761	10.2%	97.8%	97.9%
中京エリア	153	250,708	66.4%	156	258,723	66.6%	96.9%	97.2%
北陸エリア	17	23,571	6.2%	18	25,281	6.5%	93.2%	98.0%
※合計	231	377,848	100.0%	235	388,701	100.0%	97.2%	97.2%

※ 合計には、本社他の売上高が含まれています。

⑥商品別売上高

百万円

		平成23年2月期 第2四半期累計		平成22年2月期 第2四半期累計		前年 同期 対比	平成22年2月期	
		売上高	構成比	売上高	構成比		売上高	構成比
商 品 別 売 上 高	婦人衣料	16,734	4.4%	17,513	4.5%	95.6%	33,563	4.3%
	子供衣料	8,224	2.2%	8,949	2.3%	91.9%	17,815	2.3%
	紳士衣料	9,685	2.6%	10,259	2.6%	94.4%	20,748	2.6%
	洋品雑貨	10,125	2.7%	10,547	2.7%	96.0%	19,849	2.5%
	肌着類	14,445	3.8%	14,913	3.9%	96.9%	30,620	3.9%
	衣料品小計	59,215	15.7%	62,182	16.0%	95.2%	122,598	15.6%
	住居関連品	13,316	3.5%	13,743	3.5%	96.9%	28,941	3.7%
	日用雑貨	47,811	12.7%	49,042	12.6%	97.5%	102,507	13.0%
	住関連品小計	61,127	16.2%	62,786	16.1%	97.4%	131,449	16.7%
	生鮮食品	146,754	38.8%	150,608	38.8%	97.4%	306,527	39.0%
	加工食品	104,438	27.6%	107,019	27.5%	97.6%	213,948	27.2%
	食料品小計	251,193	66.4%	257,627	66.3%	97.5%	520,475	66.2%
	商品供給高	221	0.1%	176	0.1%	125.2%	346	0.0%
	その他	6,091	1.6%	5,936	1.5%	102.6%	12,127	1.5%
合計	377,848	100.0%	388,710	100.0%	97.2%	786,996	100.0%	